



## Weekly Export Risk Outlook

 EULER HERMES

21 December 2011

### In the Headlines

今週の数字： 366,000 ▶2008 年以来最低の米国新規失業保険申請件数

#### ▶米国：雇用・住宅市場データ

週刊新規失業保険申請は、前の二週間で 366,000 に急降下、2008 年 5 月以来の最低レベルである。4 週間の動向平均は前年同期比 9% に低下、継続申請は 13% に下降した。このデータは労働市場にいくらかの希望をもたらす内容である。11 月の住宅着工件数・許可件数でも希望的要素があり、予測以上の強さでそれぞれ前年同期比 24% と 21% に上昇。これらの数字は強いがボラティリティーにさらされており、どちらの場合も 2005 年松野レベルの 3 分の 1 ほど。一方で議会では、両党の支持があったにもかかわらず、給与税率削減の延長に合意が得られなかったため、アメリカの財政への懸念が広がっている。

#### ▶ドイツ：成長指数

成長見通しは最近の数カ月で急激に下降、ユーロ圏債務危機に関係する不透明さが消費者に対する負担感を増やし投資家感情を損なっている。これは Ifo ビジネス景況調査などいくつかの指数にも反映されており、2011 年半ばから 10 月の間には 7% 下降がみられた。11 月は安定的であったが、12 月には 0.6% の改善がみられた。輸出は 10 月に前月比 3.6% 減。全体的なリスクと依然として肯定的な経済ファンダメンタルにより、2012 年は急激だが一時的な減速が予測され、主に国内需要にけん引され 2011 年の 3% 拡大に続き 0.8% の GDP 増加が予測される。

#### ▶北朝鮮：金正日、死去

北朝鮮国営放送は、12 月 19 日に、国家指導者である金正日氏が心臓発作により 2 日前に死去したと報じた。さらに、金正日氏の三男である金正恩氏が、ちょうど一年前に彼の父の後継者として公的に姿を現したが、「偉大なる後継者」として説明され北朝鮮国民は彼の下に団結するよう呼びかけられた。この報道によって世界的に権力移譲に関する懸念と、これにともなう地政学的な見通しの不透明さが再燃している。2008 年に金正日氏が心臓発作に見舞われたときにこのような懸念が初めて現れた。軍部が若く政治的な経験が不足している金正恩氏を受け容れるのか不確かであるためだ。韓国では軍を最高警戒態勢に置いている。しかし、たとえ金

A company of Allianz 

These assessments are, as always, subject to the disclaimer provided below.

Cautionary Note Regarding Forward-Looking Statements: Certain of the statements contained herein may be statements of future expectations and other forward-looking statements that are based on management's current views and assumptions and involve known and unknown risks and uncertainties that could cause actual results, performance or events to differ materially from those expressed or implied in such statements. In addition to statements which are forward-looking by reason of context, the words "may, will, should, expects, plans, intends, anticipates, believes, estimates, predicts, potential, or continue" and similar expressions identify forward-looking statements. Actual results, performance or events may differ materially from those in such statements due to, without limitation, (i) general economic conditions, including in particular economic conditions in the Allianz SE's core business and core markets, (ii) performance of financial markets, including emerging markets, (iii) the frequency and severity of insured loss events, (iv) mortality and morbidity levels and trends, (v) persistency levels, (vi) the extent of credit defaults (vii) interest rate levels, (viii) currency exchange rates including the Euro-U.S. Dollar exchange rate, (ix) changing levels of competition, (x) changes in laws and regulations, including monetary convergence and the European Monetary Union, (xi) changes in the policies of central banks and/or foreign governments, (xii) the impact of acquisitions, including related integration issues, (xiii) reorganization measures and (xiv) general competitive factors, in each case on a local, regional, national and/or global basis. Many of these factors may be more likely to occur, or more pronounced, as a result of terrorist activities and their consequences. The matters discussed herein may also involve risks and uncertainties described from time to time in Allianz SE's filings with the U.S. Securities and Exchange Commission. The Group assumes no obligation to update any forward-looking information contained herein.

正恩氏にたいするクーデターがあったとしても、戦争の勃発や北朝鮮の政権崩壊など韓国に大きなリスクをもたらすようなシナリオが起きる可能性は短期的には比較的低い。というのもこの地域での主要国は、北朝鮮の軍部と中国も含め、安定の維持に大きな利益を見出しているからだ。

## ▶ OPEC: 産出量合意

12月14日の協議で、OPEC(石油輸出国機構)は2012年の上半期の産出量上限を日量3000万バレルで合意した。これにより、サウジアラビアなどの主要産出国がリビアとシリアの供給量を補完し価格の安定を図るために合意された日量24845万バレルを上回って産出レベルが公式化されることとなる。基準石油価格ブレントは107ドル/バレルで2011年の平均は111ドル/バレル(2010年は80ドル/バレル)。OPECは100ドル/バレルに価格を維持すると予想されるが、今後これは至難の技になりそうだ。2012年には地政学的な懸念(供給混乱の可能性)と世界経済の弱体化環境(エネルギー需要の脆弱化)が様々な方向性でボラティリティを大きく勢いづかせることになるためである。

## Countries in Focus



### ▶ 地中海諸国・アフリカ — ナイジェリア: 2012年予算

先週、グッドラック・ジョナサン大統領は、議会に2012年予算を提出、2009年から2011年の拡大期間にともなって財政基盤の確立が必要であるとの注意を發した。予算の内容は、中期財政枠組み(議会で承認済み)にほぼ沿っており原油価格に関しては70ドル/バレルの推算を守っている。2011年では予算推計75ドル/バレルに対して実際は111ドル/バレルであった。また、原油産出量は一にあたり248万バレルを推計している(2011年は230万バレルを目標としていた)。予算では2012年のGDP成長率を2.77%、インフレ率を9.5%と推測している。公式見通しでは、2012年の財政赤字はGDPの2.77%にのぼるとされ、国家消費と州別消費の大きさにもかかわらず1%前後という比較的小さく管理可能な赤字を予測している。



### ▶ アメリカ・カリブ海地域 — ジャマイカ: 総選挙

12月29日に総選挙が実施される予定。独立以来最も若い首相となったアンドリュー・ホルネス氏により決定された。彼は、今年10月に辞任した与党ジャマイカ労働党(JLP)党首であり前首相のブルース・ゴールディング氏の後継である。最新の世論調査では、JLPの支持率は主要野党でポルティア・シン普森・ミラー氏率いる民衆国民党(PNP)よりわずかに上回ったが、この二つの政党の立ち位置は均衡が取れている(誤差の範囲)。PNPが支持率を下げたのは2007年以来で、この後JLPの党首交代が次回の選挙に勝利に有利に働くように思われるようになった。ホルネス氏の党首・首相としての選出は、厳しく決定的な状況にあってJLPを勢いづかせるという期待された効果をもたらすだろう。



### ▶ アジア・太平洋地域 — 台湾: 総統・議会選挙

2012年1月14日に大統領選挙と議会選挙が実施される。主な候補者は、二期目を目指す中国国民党(KMT)の馬英九・現総統と、主要野党である民主進歩党(DPP)の蔡英文・主席。世論調査によると二名の候補者の支持率は近接しており、どちらも35%前後の支持率を得ている。その後続くのは親民党(PFP)の宋・主席である(10~11%)。二大政党が相違を見せている政策領域は、中国本土との海峡間関係で、KMTは統一を支持、DPPは独立を支持している。ただしこの問題は以前の選挙の時より重要性は低くなっており、一方で多くの汚職疑惑が注目を集めている。KMTは議会で多数派を維持するとみられる。



## ▶ 欧州 — カザフスタン: 抵抗運動

警察当局と推計 3,000 人の石油業労働者とその支持者のかつてない衝突がカザフスタンの西部で発生、警察当局がデモ参加者を抑え込んだ。デモは独立記念日を利用し低賃金と労働・生活環境の悪条件に関して不満を訴えるのもであった。ナザルバイエフ大統領は 20 日間の非常事態宣言を発令した。今回の抵抗運動は政府と石油収入の再分配への不満を反映していたが、これまで北アフリカで見られたような民衆による独裁政権の崩壊は短期的にはみられないだろう。今のところ、政権は全体として安泰で、政治的安定への主なリスクは大

統領の 71 歳という年齢と健康状態で、明確な後継者選択がなされていないことが権力の移譲の際の秩序混乱を招く恐れがある。

## Worth Knowing

### ▶ アイルランド & イタリア

アイルランド: 第 3 四半期の GDP は、第 2 四半期は 2.1% であったのに比べ前四半期比 1.3% に縮小。固定投資が 20.9% 減となったため。イタリア: 第 3 四半期 GDP は、第 2 四半期は 0.3% 増であったが前四半期比 0.2% 減。

### ▶ ガーナ

原油産出国としての最初の一年間でガーナは 2350 万バレルの原油をジュブリー油田から産出。その他の三つの油田は開発中で、ジュブリー油田も 2000 億立法フィートの天然ガスを有しているとみられる。

### ▶ ハンガリー

中央銀行は主要政策金利を 50bps 引上げ 7% とし、12 月 21 日から施行される。この 3 週間で二回目の引上げは、ハンガリー経済とインフレ圧力のリスク懸念の増加に対抗するため必要であった。

For more information, visit

[www.eulerhermes.com](http://www.eulerhermes.com)